

平成30年度群馬県環境賞顕彰について

1 顕彰の目的

良好な環境の保全及び創造並びに自然保護に顕著な功績があったものに対し、群馬県環境賞を授与し、県民の環境に対する意識の高揚に資することを目的とする。

2 受賞者

5個人・5団体 計10個人・団体

| 氏名または名称（敬称略） | 市町村 | 受賞分野 |
|--|------|-----------------------|
| きむら よしひこ 木村 良彦 （公社）群馬県環境資源創生協会副会長 | 前橋市 | 環境の保全及び創造の分野 |
| 桂萱地区地域づくり推進協議会 | 前橋市 | 環境の保全及び創造の分野 |
| 協和発酵キリン株式会社 | 高崎市 | 環境の保全及び創造の分野 |
| ネットヨタ群馬株式会社 | 前橋市 | 環境の保全及び創造の分野 |
| 高崎市立六郷小学校 | 高崎市 | 環境の保全及び創造の分野 |
| かいとう かつお 海藤 勝雄 太田市環境保健委員長 | 太田市 | 環境美化、ごみの減量化及び再生利用等の分野 |
| たかはし みつる 高橋 充 高崎市環境保健委員 | 高崎市 | 環境美化、ごみの減量化及び再生利用等の分野 |
| さいとう つぎえ 齋藤 次江 （特非）群馬県自然保護連盟会員 | 渋川市 | 自然保護の分野 |
| みずの ひろあき 水野 博晶 日本野鳥の会群馬 桐生みどり分会 分会長 | 東吾妻町 | 野生生物保護の分野 |
| 太田猟友会 | 太田市 | 野生生物保護の分野 |

平成30年度群馬県環境賞顕彰(環境功績賞)受賞者の功績等

| 番号 | 受賞者(敬称略) | 功績概要及び活動状況 |
|----|----------------|--|
| 1 | 木村 良彦 | 群馬県環境資源創生協会本部理事及び副会長として、廃棄物の不適正処理防止巡視パトロールや不法投棄防止立看板の設置など、行政機関と連携して啓発活動を展開し、生活環境の保全に寄与している。また、研究会・講習会の開催に携わるなど、循環型社会形成の普及啓発に尽力している。 |
| 2 | 桂萱地区地域づくり推進協議会 | 平成19年度から、毎年地区内小中学校の生徒に対し「もったいない活動標語」を募集し表彰するなど、環境保全に係る普及啓発活動を行っている。また、地域ぐるみで「有価物集団回収」を進め、地球環境にやさしい社会づくりを推進している。 |
| 3 | 協和発酵キリン株式会社 | 県や森林所有者と森林整備協定を締結し、平成19年度から森林整備活動を実施するなど、森林整備に尽力している。また、工場周辺や高崎市街地、観音山などの清掃活動を行うなど、地域貢献活動にも積極的に取り組んでいる。 |
| 4 | ネットヨタ群馬株式会社 | 県や森林所有者と森林整備協定を締結し、平成19年度から赤城山の松くい虫被害林の再生を目標にして、地元で採取した種から育てられた苗の植栽を行うなど、森林整備に尽力している。また、毎年、県内各地において、ネイチャークラフトなどの自然体験活動を実施している。 |
| 5 | 高崎市立六郷小学校 | 持続的な開発のための教育(ESD)を教育課程に位置づけ、学年ごとに作成した全校児童参加のESDカレンダーに基づき環境学習を行っており、平成22年にはユネスコスクールに認定された。また、地域と連携したペットボトルキャップ回収を行うほか、節電節水等と呼びかける校内巡回など、資源の大切さを啓発するための幅広い取組を実践している。 |
| 6 | 海藤 勝雄 | 平成17年度から太田市環境保健委員長として、地域のごみステーションの管理・清掃やごみの分別収集の推進に取り組むなど、地域の環境美化に尽力し、環境保全意識の高揚に寄与している。 |
| 7 | 高橋 充 | 昭和62年度から高崎市環境保健委員として、収集日に毎回早朝からごみステーションでごみ排出指導や分別方法の周知・指導を行っている。また、積極的に環境啓発活動や各種説明会を開催するなど、地域のコミュニケーションの充実に取り組み、地域の環境保全に寄与している。 |
| 8 | 齋藤 次江 | 群馬県自然保護連盟会員及び観察会行事のスタッフとして積極的に行事に参加し、学習成果を活かした解説を行っている。その他、日本山岳協会認定の自然保護指導員や谷川岳エコツアーリズムのボランティアガイドを務めるなど、自然保護意識の普及啓発に尽力している。 |
| 9 | 水野 博晶 | 平成9年度から鳥類生息密度調査員として継続して調査を実施している。また、愛鳥モデル校巡回指導員、ガンカモ類生息調査員として継続的に活動するほか、地域において野鳥観察会を開催するなど、自然環境保護や野生生物保護の啓発活動を継続的に実施している。 |
| 10 | 太田猟友会 | 太田市と連携した鳥獣保護区等標識の設置及び撤去作業の実施や県猟友会が実施するキジやヤマドリ等の放鳥事業に協力するなど野生鳥獣の保護、鳥獣資源の保全に貢献している。また、有害鳥獣駆除隊を中心とした射撃研修会等による捕獲技術の向上や、生活環境を保全するための有害鳥獣捕獲やパトロールなど、狩猟の適正化にも貢献している。 |